

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

本校は、これまで家庭科の授業研究に取り組んできた。特に、平成25・26年度文部科学省・国立教育政策研究所教育課程研究指定校として小学校家庭科の研究に取り組み、26年度には、全国的に授業公開をしたところである。さらに平成29・30年度、国研の研究協力校を受け、家庭科の調査官の御指導の継続的に受けているところである。

また、平成29年度から、横浜市の教育委員会のESD研究指定校として、持続可能な社会の構築に向けた、授業改善を推進しているところである。今年度は、さらに住総研の住教育の視点から授業を見直し、よりよい生活を目指して家庭・地域で実践する子の育成を目指したい。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

A 中心となる活動

家庭科 題材名 「環境にやさしい快適な住まい方を調べ、家族や地域に伝えよう
～ 冬の暖かい住まい方、夏の涼しい住まい方 ～」

総合的な学習の時間 「広げよう、環境にやさしい住まい方」

B 授業のねらいと特徴

家庭科のねらい「住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや環境を考えて適切な住まい方を工夫することができる。」

(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力)

総合的な学習の時間のねらい「家庭科の学習から学んだ環境を考えた住まい方を、さらに実践的・計画的に見直し、発信の方法を工夫しながら、家族や地域に伝え広げようとする実践力を育む。」(表現力・実践力、コミュニケーション能力)

C 学習の流れ(指導計画)

30年9月 6年「環境にやさしい夏の住まい方を考えよう PART II」(5時間扱い)

住まいの働き、健康・快適な生活の仕方、室温・通風・換気、

日本の生活文化と知恵等について、実験・調査・検証・結果・改善。

総合 6年「広げよう、環境にやさしい住まい方 PART II」(4時間扱い)

学習したことを相手にわかるように考えて、伝えよう

30年1月 5年「環境にやさしい冬の住まい方を考えよう PART I」(4時間扱い)

採光 換気と結露やカビやダニの発生 暖房器具の安全な使い方、

照明と日光の明るさ 音と家族の生活等実験・調査・検証・結果・改善

総合 5年「広げよう、環境にやさしい住まい方 PART I」(4時間扱い)

学習したことを相手にわかるように考えて、伝えよう

その他特記事項がありましたらお書きください

これまでの生活科・家庭科研究の積み重ねの上に、ESD研究推進校として取り組んできた。さらに、平成31年度は、自分と生活をみつめ、「ひと・もの・こと」と関わりながら問題解決することを通して、豊かな未来をつくる子どもの育成を目指して、研究発表を行いたいと考えている。今年度、住教育授業づくりの経験を生かし、さらにカリキュラムの内容を充実させることができると期待している。